

安楽寺寺報

聞光

第105号 報恩講号

発行所
〒737-0054
吳市上山田町2-28
安楽寺
TEL: 0823-21-7561

親鸞聖人の結婚観

信業 晃仁

結婚ということを考える時、私は親鸞聖人ほど結婚ということについて、深く考えた方はいらっしゃらないだろうと思います。なぜなら、当時、僧の妻帯は戒律の上からも、僧尼令(法僧)でも禁じられていました。そのような中で僧でありながら公然と結婚されたのが、親鸞聖人だったのです。確かにそれまでにも隠れて妻帯する僧はいたようです。しかし公には僧は肉食妻帯をしないと言ったことが当たり前の時代に、大変な決断だったと思います。その決断に至るまでには、どれほど悩まされたか、結核かと思うのです。その流れをくむ私たちが、結婚も当たり前で「浄土真宗は肉食妻帯もOKです。」と簡単に言っていますが、そこに至るには親鸞聖人の大変なご苦労があったことを忘れてはならないと思います。

そこで、親鸞聖人が結婚を決心されるに至った出来事について触れてみたいと思います。親鸞聖人は九歳で出家得度され、比叡山に登られます。そして二〇年の間、比叡山で学問、修業に励まれるわけですが、その頃比叡山での

そして親鸞聖人は六角堂に籠もられ、九十五日の間に観音菩薩の示現にあずかられます。その時の菩薩の言葉を『御伝鈔(ごでんしやう)』には、「行者宿報設女犯 我成玉女身被犯 一生之間能莊嚴 臨終引導生極樂」(そなたがもし過去世の報いによって、戒律を破り結婚するようなことがあれば、私(観音)が玉女の身(麗しき女人)となつて、そなたの妻になろう。そしてそなたの一生を仏道として美しく莊嚴し、臨終には極樂へ導いていくであろう)と伝えます。そしてこのことを多くの人に伝えて欲しい、と告げられます。この言葉によって、親鸞聖人は法然上人の門をたかかれば決心をされ、結婚観にも大きな影響を与えたと考えられます。



最後に、少し奥様の恵信尼様のお心に触れますと、恵信尼様が、親鸞聖人の御往生後、聖人の臨終を看取った、末娘の覚信尼様の元に手紙を送っておられます。そのお手紙の中に、恵信尼様が見られた夢のことが書かれてあります。その夢は、光り輝く勢至菩薩と観音菩薩が出てこれ、勢至菩薩は法然上人、観音菩薩は親鸞聖人だということ答へが返ってきたという夢でした。詳しくは『恵信尼心書』にゆずりますが、恵信尼様も、心の中で親鸞聖人のことを観音菩薩の化身として拝んでおられたようです。

私たちの前を歩んで下さった、親鸞聖人ご夫妻は、お互いに相手を観音菩薩の化身と心で拝み合っておられたようです。浄土真宗の夫婦の原点はここにあるのかと思います。私たちも心に止めておきたいことです。

安楽寺マンガ通信

その55 信業めぐみ作



先日、兄の結婚式がありました。



披露宴のお色直しのエスコートに、おばあちゃんと私がサプライズで選ばれ、とても嬉しかったです。



家族の結婚式という初めての体験にワクワクと感動がありました。

暮らしの中の仏教語 「袖触れ合うも多生の縁」

「袖触れ合うもタシヨウの縁」のカタカナの部分に漢字で書けと言われ、正しく漢字で書くことはできますか？

その解答には圧倒的に「多少」が多かったそうです。正解は「多生」です。辞書には「他生」もありますので、これも正解です。「他生」は現在の生以外の生を意味しますので、前世か後世のことですし、「多生」は何度も生まれ変わり死に変わりした多くの生を言います。人と人との出会いは不思議なものであり、敵かなものです。

道ばたで、人とすれ違うとき、袖がちよっと触れ合うほどの、ささいなことも、深い深いご縁があるのだ。だからこそ、出会いのご縁を大切にしようというのです。

このことわざはこのあたりのことを、しみじみとした、情味ある表現で示しています。この「他生の縁」は謡曲や狂言にも登場しますし、「一樹の陰、一河の流れも他生の縁」と言うことわざもあります。

この度、若院の結婚という縁が整いました。深い深いご縁があったのです。このご縁を大切に育てていきたいと思います。

安楽寺法要案内

--報恩講法要--

日時 11月26日(土) 朝席・昼席
講師 岐阜 願誓寺 松橋 哲成 先生
講題 信業峻磨先生の教えの要

--御正忌報恩講--

日時 1月21日(土) 朝席
講師 住職・若院

※朝席10:00～ 昼席13:00～
※昼食のご用意ができませんので、必要な方は各自ご用意をお願いいたします
※新型コロナウイルスが感染拡大した場合急遽中止する場合があります。

編集後記

今号は、結婚にちなんだ号になっております。10月9日に京都にて兄が結婚式を挙行しました。親戚だけの挙式でしたが、雰囲気だけでも皆様にお伝えしたいと思いいま今号は写真を多く掲載させていただきます。安楽寺として、家族が増えるということは初めてで、不慣れなことも多くなるかと思いましたが、これからも温かくご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。めぐみ



ファーストバイトと
サンクスバイト



お寺という特殊な環境に、そして住んだこともない広島に行くという選択は本当に大変だったと思います。そんな中、自分と結婚するという選択をしてもらい、本当にありがたいと思っています。これからは二人が家族となつて皆さんとお付き合いさせていただくこととなりますが、まだまだ未熟な二人ですので、皆様に助けをいただくことが多いかと思ひます。ただ、未熟ながらも出来る限り少しでも皆様のお役に立ちたいと思ひしておりますので、これからも末永くよろしくお願ひいたします。(信楽 慧)

「おのおの、自らを灯火とし、自らをよりどころとせよ」として、法をよりどころとせよ。他の教えをよりどころとせよ。この法(ダルマ)を灯火とす。その最後に残した教えといわれてゐるものに、端的に教示されております。「乃至」その内容を簡単にまとめますと

「おのおの、自らを灯火とし、自らをよりどころとせよ」として、法をよりどころとせよ。他の教えをよりどころとせよ。この法(ダルマ)を灯火とす。その最後に残した教えといわれてゐるものに、端的に教示されております。「乃至」その内容を簡単にまとめますと

き、その最後に残した教えといわれてゐるものに、端的に教示されております。「乃至」その内容を簡単にまとめますと

「おのおの、自らを灯火とし、自らをよりどころとせよ」として、法をよりどころとせよ。他の教えをよりどころとせよ。この法(ダルマ)を灯火とす。その最後に残した教えといわれてゐるものに、端的に教示されております。「乃至」その内容を簡単にまとめますと

き、その最後に残した教えといわれてゐるものに、端的に教示されております。「乃至」その内容を簡単にまとめますと

「おのおの、自らを灯火とし、自らをよりどころとせよ」として、法をよりどころとせよ。他の教えをよりどころとせよ。この法(ダルマ)を灯火とす。その最後に残した教えといわれてゐるものに、端的に教示されております。「乃至」その内容を簡単にまとめますと

お念佛のしずく

自灯明・法灯明

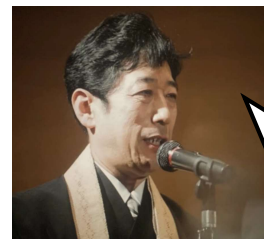
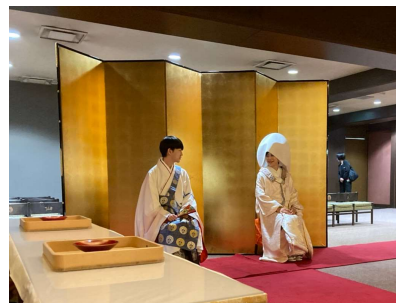


若院 結婚式・披露宴

京都
大谷本廟
にて挙式
しました



司婚者は光心寺の桃井信之先生が勤めてくださいました。



「仏説阿彌陀經」の中の共命鳥(ぐみょうちょう)という、一つの身体に二つの頭をもつ鳥の話を用いて結婚とは、考え方の違う2人が1つになって同じ方向に向かって共に生きていくといった話をいただきました。



披露宴は、家族・親戚のみでささやかに
おこないました。

